

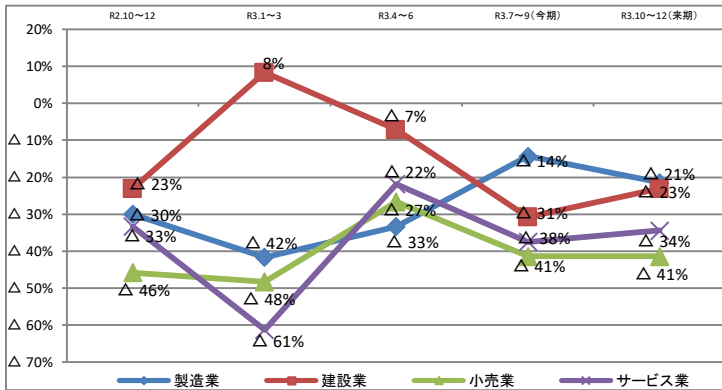
中小企業の業況は、低下傾向にある。

山口商工会議所では、管内中小企業99社を対象に景況調査を実施し、このほど令和3年7月～令和3年9月期実績と令和3年10月～令和3年12月期見通しについての調査結果（回答数90社、回答率90.9%）をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲25%から▲33%とわずかに低下した。業種別にみると、製造業は▲33%から▲14%へと上昇しており、来期は▲21%へとわずかに低下する見通しである。建設業は▲7%から▲31%へと大幅に低下したが、来期は▲23%へとマイナス幅がわずかに縮小する見通しである。小売業は▲27%から▲41%と低下しており、来期も41%と変化なしの見通しである。サービス業は、▲22%から▲38%と低下しており、来期については▲34%とわずかにマイナス幅が縮小する見込みである。今回調査では、前回調査と比較して、製造業以外の業種で低下傾向が見られた。新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の19%、来期設備投資を実施予定の企業は17%であった。経営上の問題点については、建設業以外の業種で「ニーズの変化への対応」が上位に入った。また、全ての業種で「需要の停滞」が上位に挙げられた。

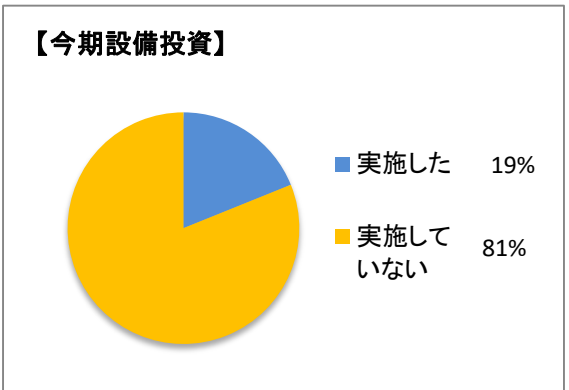
◆業況DI値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 33%	↘	△ 43%	↘	△ 23%	↘	36%	↗	△ 38%	↘	△ 4%	↗
製造業	△ 14%	↗	△ 29%	↘	△ 36%	↘	64%	↗	△ 36%	↘	△ 21%	↘
建設業	△ 31%	↘	△ 46%	↘	△ 15%	↘	62%	↗	△ 54%	↘	△ 8%	↗
小売業	△ 41%	↘	△ 52%	↘	△ 21%	↗	21%	↗	△ 41%	↘	0%	↗
サービス業	△ 38%	↘	△ 38%	↘	△ 22%	↘	22%	↗	△ 31%	↘	△ 3%	↗

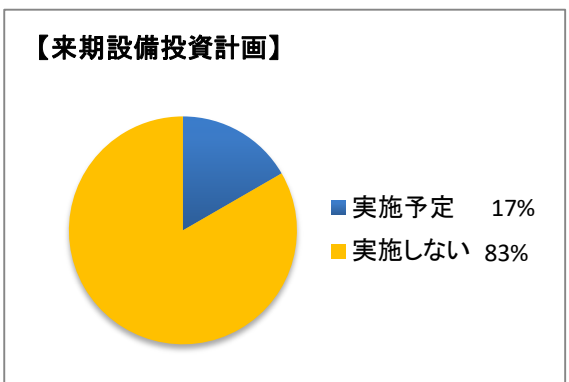
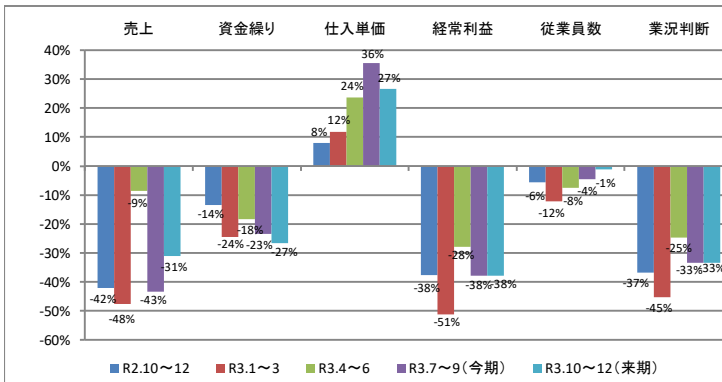
◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）



◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	生産設備の不足・老朽化	17.6%	材料価格の上昇	26.5%	需要の停滞	22.9%	需要の停滞	16.7%
2位	需要の停滞	17.6%	官公需要の停滞	17.6%	消費者ニーズの変化への対応	11.4%	利用者ニーズの変化への対応	14.1%
3位	製品ニーズの変化への対応	14.7%	民間需要の停滞	14.7%	購買力の他地域への流出	10.0%	店舗施設の狭隘・老朽化	11.5%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。